

MT4は、ローソク足を常に画面中央に表示させるため、チャートの時間軸を横にスクロールすると縦の価格の目盛が変動します（チャートの上下の幅が変動する）。

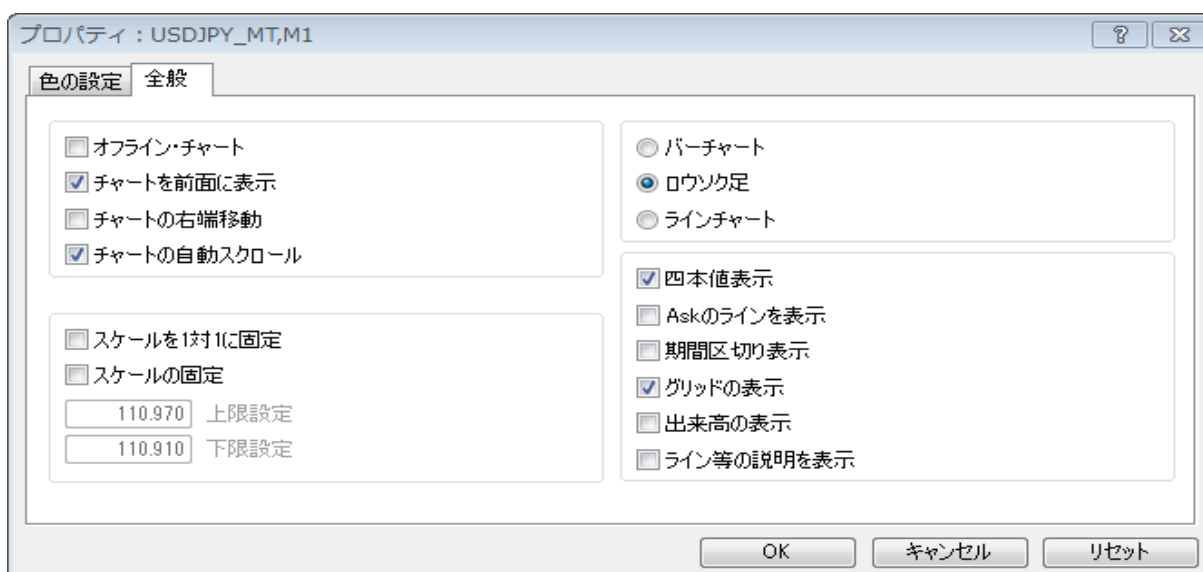
チャートをスクロールすると、表示範囲の高値・安値や変動幅も変化するため、MT4ではそれに合わせて価格目盛の間隔や、上下の価格幅を変動させ、チャートを見やすくしています。

目盛りの価格幅が変化することで、トレンドラインの角度等の見方が変わることを防ぎたいときなどの場合に、スケールの固定設定を利用すると便利です。

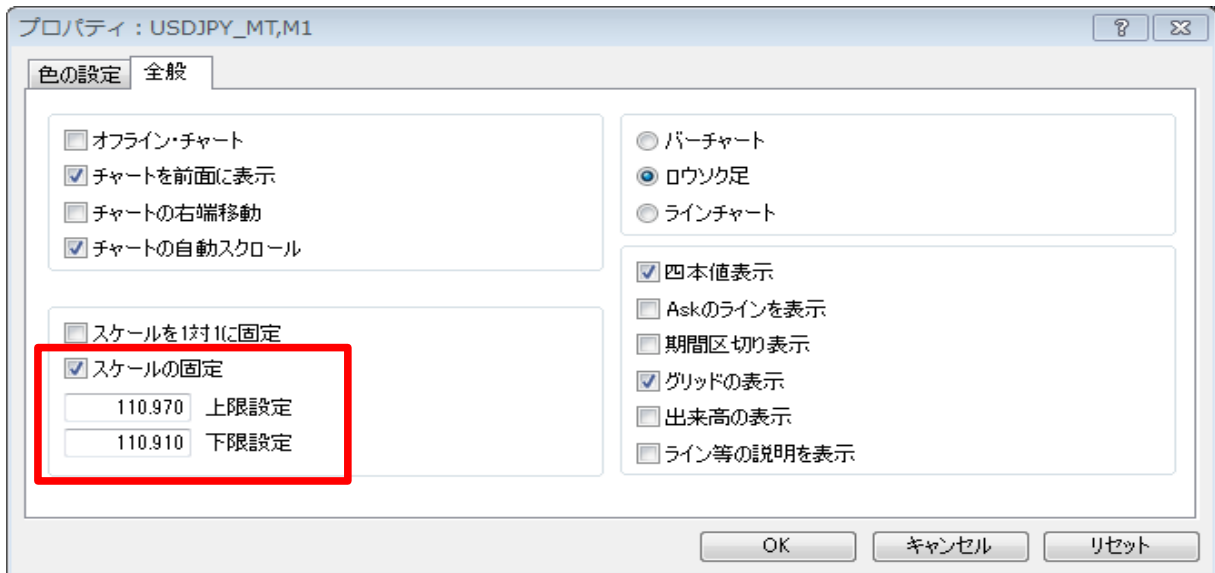
- 1 設定したいチャート上で右クリックして【プロパティ】をクリックします。



- 2 プロパティが表示されます。



3 【スケールの固定】にチェックをいれ、上限設定と下限設定を入力し、【OK】をクリックします。

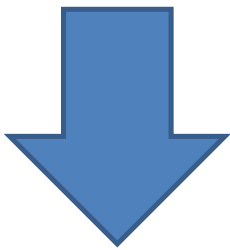


<スケールを1対1に固定>とは？

チャートの横軸（時間）と縦軸（価格）が同じ倍率で拡大・縮小される設定です。スケールを1対1に固定を選択すると「スケールの固定」は自動的に有効になり、ウィンドウの右側にスクロールバーが表示され、上下にチャートをスクロールすることができます。



スケールを固定した状態でチャートをスクロールすると、画面からローソク足が見えなくなる場合があります。その場合、[5]（テンキー）をおすことでローソク足を画面の見える位置に表示させることができます。



[5]（テンキー）を押すと…

